説明文の 要旨をえらぼう

小4／文章を読んで、筆者がいちばん言いたいこと（要旨）を1つえらびましょう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

1　休みの日の朝を よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

休みの日は、つい昼近くまでねてしまう。そうした週は、月曜の朝がつらかった。日曜の夜に早くふとんに入っても、なかなかねつけない。そこで、休みの日も学校のある日と同じ時こくに起きるようにした。すると、月曜の朝の目覚めが楽になった。

1. 休みの日も同じ時こくに起きると、月曜の朝が楽になる。
2. 休みの日の朝に日の光をよくあびると、月曜の朝が楽になる。
3. 日曜の夜にふだんより早くねると、月曜の朝が楽になる。
4. 休みの日にたっぷりねて体を休めると、月曜の朝が楽になる。

2　日記を よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

毎日、日記を書こうと決めても、ページをうめようとすると、三日ほどで続かなくなる。そこで、一日一行だけ書くことにした。半年たって読み返すと、短い文からでも、その日のことがありありと思い出せた。続けるこつは、書く量を小さくすることだったのだ。

1. 日記を続けるには、まず書くと強く決めることが大切だ。
2. 日記を続けるには、一日に書く量を少なくするのがよい。
3. 日記を続けるには、毎日書く時こくを決めておくのがよい。
4. 日記を続けるには、書いた日にしるしをつけていくのがよい。

3　かむことを よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

ごはんを口に入れたら、すぐに飲みこまずに、三十回くらいかみ続けてみよう。はじめは味がうすいのに、だんだんあまく感じてくる。これは、だえきが、ごはんのでんぷんを、あまみのあるものに変えるからだ。かむことは、味を生み出すはたらきもしているのである。

1. よくかむと、あごがきたえられて歯ならびがよくなる。
2. よくかむと、ごはんの量が少なくても満ぞくできる。
3. よくかむと、ごはんのあまみが強く感じられる。
4. よくかむと、だえきがふえて口の中がきれいになる。

4　あいさつを よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

あいさつは元気な声で、とよく言われる。けれど、大きな声で言っても、名前をよんでも、相手が下を向いていると、気づかれずに通りすぎてしまう。相手と目が合ったところで言うと、小さな声でもきちんと返ってくる。あいさつは、言う時で伝わり方が変わるのだ。

1. あいさつは、相手の名前をつけて言うと、相手に伝わる。
2. あいさつは、自分から先に言うと、相手に伝わる。
3. あいさつは、大きな元気な声で言うと、相手に伝わる。
4. あいさつは、目が合ったときに言うと、相手に伝わる。

説明文の 要旨をえらぼう【こたえ】

小4／文章を読んで、筆者がいちばん言いたいこと（要旨）を1つえらびましょう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

答えと、たしかめるところ

1　答え：1

昼近くまでねると月曜がつらく、日曜に早くふとんに入っても『なかなかねつけない』。同じ時こくに起きると『月曜の朝の目覚めが楽になった』とあります。

2　答え：2

『書こうと決めても…続かなくなる』。一行にすると続き、まとめは『書く量を小さくすること』です。ほかは、本文に書かれていないか、本文と食いちがいます。

3　答え：3

『だんだんあまく感じてくる』『かむことは、味を生み出すはたらきもしている』とあります。ほかは、本文に書かれていないか、本文と食いちがいます。

4　答え：4

大きな声でも、名前をよんでも『気づかれずに通りすぎてしまう』。『目が合ったところで言うと…きちんと返ってくる』とあります。

読み取るコツ

「しかし」「けれど」のあとや、終わりの文から、言いたいことをつかみます。

説明文の 要旨をえらぼう

小4／文章を読んで、筆者がいちばん言いたいこと（要旨）を1つえらびましょう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

1　わすれ物を よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

わすれ物をへらそうと、前の夜に持ち物をそろえていた。それでも、朝になって足したハンカチや給食ぶくろをわすれてしまう。そこで、げんかんのすみに置き場を作り、出かける直前にそこでたしかめることにした。かべにはった持ち物の表は、すぐに見なくなったが、置き場なら毎朝目に入る。

1. わすれ物は、前の夜のうちに、持ち物の表でたしかめるとへる。
2. わすれ物は、前の夜のうちに、置き場でたしかめるとへる。
3. わすれ物は、出かける直前に、置き場でたしかめるとへる。
4. わすれ物は、出かける直前に、持ち物の表でたしかめるとへる。

2　切りかぶを よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

切りかぶの年輪は、南側の間が広いので方角が分かる、と言われることがある。しかし、実さいには北側が広い切りかぶも少なくない。年輪のかたよりは、日当たりよりも、木が立っていた地面のかたむきや、風の強さによって生まれることが多いのだ。

1. 年輪のかたよりは、えだのつき方のちがいで生まれやすい。
2. 年輪のかたよりは、地面のかたむきや風で生まれやすい。
3. 年輪のかたよりは、日当たりのちがいで生まれやすい。
4. 年輪のかたよりは、木の種類のちがいで生まれやすい。

3　発表を よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

クラスで発表するとき、言うことを全部原こうに書いて読んだ。まちがえずに読めたのに、聞いている人はだんだん下を向いていった。次は、言いたい言葉だけを短くメモし、みんなの顔を見ながら話した。すると、うなずく人がふえた。

1. 発表は、まちがえないように練習を重ねると伝わる。
2. 発表は、聞く人に問いかけながら話すと伝わる。
3. 発表は、はじめに言いたいことを言ってから話すと伝わる。
4. 発表は、短いメモを見ながら顔を上げて話すと伝わる。

4　町の地名を よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

わたしの町には「かじ町」「大工町」のような地名が残っている。昔の地図と見くらべると、そこには、かじ屋や大工の家が集まっていたことが分かる。今はふつうの家がならび、見ただけでは分からない。けれど地名は、そこで昔どんな仕事がさかんだったかを、今に伝えているのである。

1. 地名から、その場所で昔さかんだった仕事が分かる。
2. 地名から、その土地が昔どんな天気だったかが分かる。
3. 地名から、その場所で昔さかんだった祭りが分かる。
4. 地名から、その土地が昔どんな地形だったかが分かる。

説明文の 要旨をえらぼう【こたえ】

小4／文章を読んで、筆者がいちばん言いたいこと（要旨）を1つえらびましょう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

答えと、たしかめるところ

1　答え：3

前の夜にそろえても『朝になって足した』物をわすれた。表は『すぐに見なくなった』。『出かける直前に』置き場で『たしかめる』ことにした、とあります。

2　答え：2

『北側が広い切りかぶも少なくない』とあり、かたよりは『日当たりよりも…地面のかたむきや、風の強さによって生まれる』とまとめています。

3　答え：4

原こうを『まちがえずに読めたのに』下を向かれた。短いメモで『顔を見ながら話した』ら『うなずく人がふえた』とあります。ほかは、本文に書かれていないか、本文と食いちがいます。

4　答え：1

「かじ町」「大工町」には『かじ屋や大工の家が集まっていた』。地名は『昔どんな仕事がさかんだったかを、今に伝えている』とまとめています。ほかは、本文と食いちがうか、本文に書かれていません。

読み取るコツ

「しかし」「けれど」のあとや、終わりの文から、言いたいことをつかみます。

説明文の 要旨をえらぼう

小4／文章を読んで、筆者がいちばん言いたいこと（要旨）を1つえらびましょう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

1　水やりを よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

植木ばちの花に、毎日決まった時こくにたっぷり水をやっていたら、葉が黄色くなってしまった。土がずっとしめっていると、根が息をできずに弱ることがあるのだ。それからは、土の表面がかわいたのをたしかめてから水をやると、葉は緑にもどった。ただ、花の数は前と変わらなかった。

1. 水やりは、土がかわいてからにすると、花がよくさく。
2. 水やりは、毎日決まった時こくにすると、花がよくさく。
3. 水やりは、毎日決まった時こくにすると、葉が元気になる。
4. 水やりは、土がかわいてからにすると、葉が元気になる。

2　国語辞典を よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

国語辞典は、知らない言葉を調べる本だと思っていた。ためしに、よく知っている「たつ」を引いてみた。漢字の書き方は知っていたとおりだったが、「立つ」のほかに、時間が「たつ」、うわさが「たつ」など、思ってもいなかった使い方がいくつもならんでいた。

1. よく知っている言葉を引くと、意外な使い方に出会える。
2. よく知っている言葉を引くと、正しい漢字の書き方が分かる。
3. 知らない言葉を引くと、正しい漢字の書き方が分かる。
4. 知らない言葉を引くと、意外な使い方に出会える。

3　自由研究を よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

夏休みの自由研究で、はじめは「海の生き物」を調べようとした。しかし、本を何さつ読んでも、まとめきれずに終わりそうになった。そこで、「近くの川のメダカは、何時ごろ水面近くに集まるか」と問いを小さくした。すると、自分で調べて答えを出せた。かかった日数は前の年と同じくらいだった。

1. 自由研究は、本でくわしく調べると、自分で答えが出せる。
2. 自由研究は、問いを小さくすると、自分で答えが出せる。
3. 自由研究は、問いを小さくすると、早く終わらせられる。
4. 自由研究は、本でくわしく調べると、早く終わらせられる。

4　店のたなを よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

スーパーで、同じおかしが、たなの上の方と、目の高さの所の両方にならんでいた。店の人に聞くと、どちらも目立ち方はあまり変わらないが、目の高さにある品物が、いちばん手に取られやすいそうだ。だから、よく売りたい品物は、その高さに置くという。

1. 品物は、たなの上の方に置くと、目立ちやすい。
2. 品物は、目の高さに置くと、目立ちやすい。
3. 品物は、目の高さに置くと、手に取られやすい。
4. 品物は、たなの上の方に置くと、手に取られやすい。

説明文の 要旨をえらぼう【こたえ】

小4／文章を読んで、筆者がいちばん言いたいこと（要旨）を1つえらびましょう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

答えと、たしかめるところ

1　答え：4

毎日やると『葉が黄色くなってしまった』。かわいてからにすると『葉は緑にもどった』。花の数は『前と変わらなかった』とあります。

2　答え：1

よく知っている「たつ」を引くと『思ってもいなかった使い方がいくつもならんでいた』。漢字は『知っていたとおり』でした。

3　答え：2

本を何さつ読んでも『まとめきれず』、『問いを小さくした』ら『答えを出せた』。日数は『前の年と同じくらい』でした。

4　答え：3

目立ち方は『あまり変わらない』が、『目の高さにある品物が、いちばん手に取られやすい』とあります。

読み取るコツ

「しかし」「けれど」のあとや、終わりの文から、言いたいことをつかみます。